

議案 第1号

令和4年度事業報告

◎会員の状況

| | |
|-------------|------|
| 令和4年4月1日現在 | 290名 |
| 令和4年度 入会者数 | 3名 |
| 令和4年度 退会者数 | 10名 |
| 令和5年3月31日現在 | 283名 |

1 医療保険制度の円滑な運営に関する事業

(1) 医療費支給申請書の審査に協力し、適正な保険取扱業務の推進に努める。

新潟県柔道整復師会審査委員会、協会けんぽ新潟支部柔道整復療養費審査委員会施術者審査委員、新潟県国民健康保険柔道整復師施術療養費審査会審査員及び新潟労働局柔道整復師施術費用審査委員として審査業務に協力した。

(2) 保険取扱研修会を開催し、適正な保険取扱業務の推進に努める。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、三密を避け、二日間に分けて2会場で3年ぶりに開催した。

① 日 時：9月11日（日）午後1時から午後4時

会 場：新潟市万代市民会館 6階多目的ホール

参加者：98名

講師・内容：

○関東信越厚生局新潟事務所 指導課長 仙田 豊氏

指導第一係 後藤大輝氏

演題「柔道整復師の施術に関する制度について」

○全国健康保険協会新潟支部 業務グループ長補佐 小野寺 了氏

演題「健康保険制度の概要と柔整療養費申請の注意点」

○新潟県国民健康保険団体連合会 専門員 山口岳美氏

演題「新潟県国民健康保険団体連合会における療養費の取扱いについて」

○新潟県柔道整復師会 会長 金子益美氏

演題「柔道整復師を取り巻く情勢と当面の諸問題について」

○新潟県柔道整復師会 保険部長 市川寿秀氏

演題「制度改正のポイントと保険取扱の現状について」

② 日 時：9月23日（金・祝）午後1時から午後4時

会 場：柏崎市産業文化会館 文化ホール

参加者：81名

講師・内容：上記（9月11日）のビデオ撮影したもので聴講

○各ブロック保険研修会

- ・上越ブロック 春季 4月16日(土) 参加者: 会員40名
年末 12月10日(土) 参加者: 会員41名
いずれも市川保険部長より説明を受けた。
- ・中越ブロック 12月10日(土) 参加者: 会員33名(うちオンライン17名)
小林保険部員より説明を受けた。
- ・下越ブロック 県央地区 11月3日(木・祝) 参加者: 会員12名
市川保険部長より説明を受けた。
- ・下越ブロック 新潟地区 12月4日(日) 参加者: 会員35名
中村保険部員より説明を受けた。

(3) 新入会員を対象とした講習会を開催し、柔道整復師の保険取扱業務指導を行う。
講習会を4回開催し、全新入会員が受講した。

2 柔道整復師の資質の向上並びに柔道整復術の医学的研究に関する事業

(1) 学術研修会を開催する。

- 4月16日(土) 上越ブロック春季学術研修会 参加者: 会員40名
講師 新潟労災病院 整形外科部長 傳田博司 先生
演題 「胸椎の疾患について」
- 11月3日(木・祝) 下越ブロック 県央地区学術研修会 参加者: 会員12名
①講師 日本コアコンディショニング協会 jcca マスター講師
おけたに接骨院 院長 桶谷靖夫 先生
演題 「なぜストレッチポールで患者さんのモチベーションが保てるのか？」
②講師 和田浩一 会員
演題 「匠の技 プロジェクト活動報告」
- 12月4日(日) 下越ブロック 新潟地区学術研修会 参加者: 会員35名
講師 亀田第一病院 新潟脊椎センター センター長 長谷川和宏 先生
演題 「ヒト立位姿勢における骨盤の重要性」～脊椎・脊髄疾患との関わり～
- 12月10日(土) 上越ブロック 年末学術研修会 参加者: 会員41名
講師 上越地域振興局健康福祉環境部地域保健課
精神保健福祉相談員 佐藤 悠 先生
演題 「今こそゲートキーパー ～気づく、つなぐ、見守る～」
- 12月10日(土) 中越ブロック 年末学術研修会
参加者: 会員33名(うちオンライン17名)
講師 医療法人 晴生会 介護老人保健施設「葵の園・長岡」 施設長・医学博士
中越ブロック学術顧問 立川厚太郎 先生
演題 「肩関節脱臼の整復法の実際と困難な時の対処法」

○会員学術発表

2月26日（日）新潟東映ホテルにて開催され、81名の参加があった。

発表者①：佐藤大輔 会員

演題「南魚沼グルメマラソンにおけるテーピングブース活動報告」

発表者②：川谷裕也 会員

演題「接骨院に於ける外傷の治療経験

～良好な結果を得た脱臼骨折2症例について」

なお、佐藤大輔会員には、令和5年6月に当県で開催の北信越学術大会に新潟県代表として、川谷裕也会員には新潟柔整専門学校より特別協賛発表として参加いただきます。

(2) 超音波観察装置講習会を開催する。

11月27日（日）本会会館にて開催され、24名の参加があった。

日整から学術教育部員の佐藤和伸先生を講師に招き、超音波観察装置の基礎と臨床への応用について、(株)エス・エス・ビー青木宗晶氏から超音波観察装置の導入コストと活用事例について講義を受けた後、実技講習としてエコー機器操作の指導を受けた。

(3) 日整学術・生涯学習講習会に協力する。

11月19日（土）日整会館で開催され、金子会長が出席した。

(4) (公社)日本柔道整復師会学術大会に参加する。

(公社)日本柔道整復師会第42回北信越学術大会富山大会が、6月18日（土）・19日（日）ホテルグランテラス富山において開催され、役員10名が参加した。

なお、学術大会における会員発表に、当会を代表して和田浩一会員が「ゲレンデ内接骨院での応急手当について」発表した。

(5) 新潟柔整専門学校との協調を図る。

例年実施している新潟柔整専門学校での業界説明会について今年度は実施されなかったが、3月18日（土）新潟県民会館で開催された同校の卒業式に金子会長が出席し祝辞を述べ、優等卒業生に対し表彰状を授与し、学校との連携協調を図った。

3 柔道整復師並びに柔道整復術の普及、啓発に関する事業

(1) 一般県民及び柔道整復師を対象とした公開講座を開催する。

○中越ブロックにおいて YouTube による動画配信を行った。

講師：(株)Physical Condition Yamagata・やはぎ接骨院

院長 矢萩 裕 先生（東京2020オリンピック メディカルトレーナー）

演題：「足首の捻挫～現場における対応とアスレチック・リハビリテーションの実際」

公開期間：令和5年2月1日から2月28日まで

○新潟県民医療推進協議会の会員として県民に対し健康意識の向上を図るための健康寿命延伸フォーラムの事業に協力した。

(2) 会員研修会を開催する。

○上越ブロック夏季研修会として、7月18日(月・祝)上越市教育プラザにおいて上越消防署2名の救急隊員による普通救命講習Ⅰの救急処置、心肺蘇生法やAEDの使用についての講義と実技の講習会を開催し、会員18名が参加した。

○「匠の技 伝承」プロジェクト事業を次のとおり実施した。

・指導者候補者4名：小林英樹会員、早川雅成会員、和田浩一会員、金谷隆史会員

・受講方法：第1回は、日整会館にて和田浩一会員、金谷隆史会員が参加。

その他は、当会館においてオンラインによる画面を視聴する形で実施。

・受講日及び内容

第1回目 5月15日(日) 橈骨遠位端骨折・肩甲上腕関節脱臼の施術

第2回目 9月4日(日) 橈骨遠位端骨折・肩甲上腕関節脱臼の施術

第3回目 11月6日(日) 鎖骨・肋骨骨折の施術及び超音波観察法

第4回目 2月19日(日) 肘関節後方脱臼の施術及び超音波観察法

※受講者全員、受講時の施術状況の写真とレポートを提出した。

(3) 機関誌「新整広報」第52号を発行する。

年1回の発行であるが、会員から投稿を募集するなど内容を充実させ、2月1日発行し会員及び関係団体等に向けて郵送した。

(4) 情報公開を推進するとともに、ホームページの積極的な利用を促進する。

本会ホームページの一般用、会員用とも内容を充実させるとともに、タイムリーな内容を掲載するよう努めた。

「新整広報」や重要な通知等も保存可能となり情報検索が容易となった。

(5) (公社)日本柔道整復師会諸事業に積極的に参加し協力する。

代議員として参加協力した。

(6) 北信越ブロック会諸事業に積極的に参加し協力する。

各県会長会が7回、理事会が2回開催され、会長、副会長、理事及び相談役が出席した。

(7) 会員の加入促進を図る。

新潟柔整専門学校の入學式及び卒業式において、会長挨拶の中で本会の説明を行い加入促進・勸奨を図った。

4 県民の健康、保健、介護及び福祉増進に関する事業

(1) 県内市町村の健康増進事業に積極的に参加するとともに、その運営に協力する。

上越ブロックでは、関係各課との情報交換懇談会を開催した。

○10月15日(土) 妙高市関係各課との地区懇談会 参加者：会員8名

○10月22日(土) 上越市福祉部・健康子育て部関係各課との研修会及び情報交換会 参加者：会員26名

○10月29日(土) 柏崎市関係各課との研修懇談会 参加者：会員12名

(2) 医師会及び関係団体との連携を強化する。

本会及び協会けんぽ新潟支部・健保連新潟連合会との三者懇談会を1月17日(火) 本会会館4階会議室で開催した。懇談事項の概要については会員各位に周知した。

なお、例年実施している医師会との懇談会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し中止した。

(3) 介護保険制度への積極的な参画及び推進を図る。

新潟市他6地域での介護認定審査委員、上越市他1市の地域包括センター運営協議会委員等として、地域の介護保険制度の推進に積極的に参画した。

また、妙高市の介護予防事業「リハビリ健康講座」の機能訓練指導員として会員6名が委嘱されている。

(4) 各地域で健康教室の開催など、地域住民の健康の保持増進を目的とした事業を推進する。

9月17日(土)・18日(日)アオーレ長岡にて「すこやか・ともしびまつり2022」が3年ぶりに開催され、中越ブロック長岡地区会員10名が参加した。

来場者100名がストレッチングボード測定とテーピング体験、37名の健康相談を受け、市民に対して接骨院・整骨院の役割や健康づくりのアドバイスをした。

5 教育、スポーツ等を通じて県民の心身の健全な育成並びにスポーツ競技者、障がい者の支援に関する事業

(1) 各種スポーツ大会に協力する。

県内外各所で開催されたマラソン大会をはじめ柔道、空手、バレーボール等の大会に多くの会員が救護ボランティアとして協力した。

(2) 第33回新潟県柔道整復師会県下少年柔道大会・第11回形競技大会を開催する。

7月31日(日)上越市「謙信公武道館」において2年ぶりに大会を開催予定でしたが、新型コロナウイルス第7波の影響で急激な感染拡大が見られたことより、参加者の安全面を第一に考慮し、止むを得ず中止とした。

なお、参加予定選手は、柔道大会29団体99名、形競技会7チーム14名でした。

(3) 第31回日整全国少年柔道大会、第12回日整全国少年柔道大会形競技大会に参加し開催に協力する。

11月20日(日)東京都「講道館」において大会が開催され、当県からは、少年柔道大会で監督：牛木幹人会員、コーチ：加藤智範理事、選手：大将に藤井朗舞君、副将に山崎滉太君、中堅に五十嵐王寛君、次鋒に小泉大幹君、先鋒に市井 凱君が出場した。成績は1回戦敗退でしたが、試合マナーが優良であると認められフェアプレー賞を受賞しました。また、形競技では監督：丸山貴裕氏、取：竇壁実咲さん、受：高崎朝陽さんが出場した。成績は予選Bグループで6位の結果で決勝進出は果たせなかった。

6 公衆衛生、災害、治安の維持に関する事業

(1) 新潟県総合防災訓練及び各市町村の防災訓練に参加し協力する。

新潟県・上越市総合防災訓練が8月28日(日)に「上越沖を震源とする地震が発生。上越市で震度6強を観測し、新潟県上中下越に津波警報が発令、上越市谷浜・桑取地区では家屋の倒壊や土砂崩れが多数発生している」との想定の中、指定避難所内臨時救護所の開設・運営及び新潟県災害救援機構により搬送されてきた傷病想定者の応急手当の実動訓練に参加した。

その他、災害時及び平時からの連携強化を図ることより、各市等において開催された防災に対する会議・説明会等に参加した。

(2) 新潟県柔道整復師会災害救護赤十字奉仕団として、災害救護活動に取り組むとともに、日本赤十字社新潟県支部の救護活動に協力する。

日赤救護活動方針に基づき、県内外各所で開催された各種スポーツ大会に救護ボランティアとして救護活動に協力し、日赤救護活動に対して金一封贈呈した。

・救護活動：32回 ・救護者：366名

(3) 「新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会」の活動に参加するとともに地域社会と一体となって、犯罪のない安全なまちづくりの推進に協力する。

推進協議会の構成団体として犯罪のない安全なまちづくりの推進に協力した。

(4) 「こども・女性・おとしより・かけこみ110番」の設置運用を推進する。

新入会員にステッカーを配付し施術所に設置している。

(5) 災害時における救護活動を円滑に行うため、組織体制の確立を図るとともに人材育成に取り組む。

柔道整復師こそが災害現場で活躍できることを社会に向けて発信し、救助現場から復興までどのように活躍できるかの体制づくりを進めていくため、日整に災害担当者として丸山総務部長と加藤事業部長を登録した。

7 会員の福祉増進及び相互扶助に関する事業

(1) 共済部事業を推進する。

規約に基づき、結婚祝金1件、傷病見舞金7件、香典5件、災害見舞金28件(コロナ関連)及び祝電、弔電並びに生花を贈呈した。

(2) 全国国民年金基金に協力する。

会務報告にリーフレットを同封する等、会として事業に協力した。

(3) 新潟県柔道整復師協同組合の活動に協力する。

本会ホームページの新潟県柔道整復師協同組合のページに、お得な商品のチラシ等を紹介した。

また、会務報告にチラシを同封するなど会員の物資販売事業に協力した。

(4) 会員に有益な情報を提供する。

日整及び関係機関等からの新型コロナウイルス感染症に係る情報をはじめ、会員にとって有益な各種情報を会務報告や会員ホームページに随時掲載し情報の提供に努めた。

(5) 第 37 回新整ゴルフ大会を開催する。

5月8日(日)新発田市の中峰ゴルフクラブにて会員及び関係業者8名が参加し開催された。

優勝:金子益美会員、準優勝:渡辺敏明会員、第三位:小山章夫氏(株)エス・エス・ビー)

(6) 新潟県柔道整復師会創立 95 周年記念事業の実施。

新潟県柔道整復術組合が結成され、今年度で創立 95 周年を迎える中、記念品として「新整の徽章」を作製し、会員に配布いたしました。なお、創立 95 周年記念式典は、新型コロナウイルス感染症の増加により中止しました。

8 その他本会の目的達成のために必要な事業

(1) 新型コロナウイルス感染拡大を防止するための有益な情報を提供するとともに、状況に応じて適時的確な会員支援策を構築する。

感染防止に関する新潟県及び日整からの情報を会務報告及び会員ホームページに随時に掲載し、情報の提供を行った。

(2) 新潟県柔道整復師会館の有効利用を図る。

新入会員保険請求事務講習会、三者懇談会、広報委員会、柔道スポーツ委員会等各部会・委員会等の開催に利用した。